

令和3年10月1日

「香川大学、ソフトバンクと「アシストガイド」アプリを用いた共同研究を実施し、活動の見通しをもつことが困難な方の社会参加を支援」について

国立大学法人 香川大学（以下「香川大学」）は、ソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）と、アプリの活用を通じて、活動の見通しをもつことができず困っている人の生活のクオリティ向上や社会参加の促進を目指すための共同研究を2020年7月から実施してきました。2021年10月1日からは、これまでの共同研究を発展させ、新たな研究内容に取り組むことを合意しましたのでお知らせします。

## ■共同研究の背景

社会で生活している人の中には活動の見通しをもつことができないために、不安になり社会参加できなくなっている人がいます。見通しをもつことができないことは、その人それぞれで違いますが、ICTの活用による支援によって、日常生活におけるさまざまな不都合を改善できる場合が多くあります。

香川大学教育学部では、自閉症や知的障がいのある人が、ICTを活用することで本来の能力を発揮できるようにするICT支援技術や、特別支援教育の分野で先進的な研究に取り組んでいます。ソフトバンクは、「やること」とその「やりかた」を視覚的に並べることで、活動全体の見通しを持つことを支援するアプリ「アシストガイド」を2020年10月より提供しています。「アシストガイド」は、香川大学教育学部 特別支援教育 坂井聡研究室と技術領域 宮崎英一研究室の協力の下、知的障がいや発達障がいの方への普及促進に加え、香川大学教育学部附属坂出小学校等で実証実験を通じて学校現場での活用の可能性を検討してきました。

新たな共同研究では、「アシストガイド」を使って、香川大学教育学部附属坂出小学校等をフィールドに、更なる利便性向上や利用拡大に取り組み、具体的な支援の在り方や活用方法の調査、普及活動などを実施します。これにより、香川大学とソフトバンクは、誰もが取り残されることなく本来の能力を発揮して、社会参加できる環境の実現を目指します。

## 1. 共同研究の概要

ソフトバンクが開発したアプリ「アシストガイド」に関する共同研究を実施します。新たな共同研究では、「アシストガイド」を使って、香川大学教育学部附属坂出小学校等をフィールドに、更なる利便性向上や利用拡大に取り組み、具体的な支援の在り方や活用方法の調査、普及活動などを実施します。

## 2. 共同研究の期間

2021年10月1日～2023年3月31日

### 3. 共同研究のテーマ

- ・「アシストガイド」の利便性向上および利用拡大を目指した機能改善の取り組み
- ・困りごとを抱える人にとって有用なコンテンツの定義と収集
- ・教育現場での試用と検証、課題の発見
- ・関係団体への情報発信や講演会などによる普及促進活動

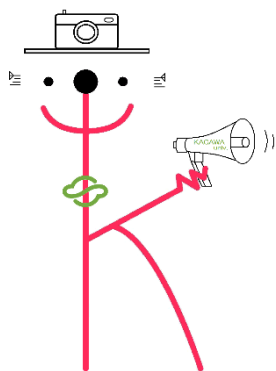
#### ■「SDGs」の取り組みについて

この共同研究は「SDGs（持続可能な開発目標）※」の17のゴールのうち、主に下記のゴールに取り組むものです。



※ Sustainable Development Goals の略称で、2030年までの達成を目指して、豊かで活力のある未来を創るための17のゴールと169のターゲットを定め、2015年に国連で採択された世界規模の取り組み。

- ・SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- ・その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。



➤ 報道関係者からのお問い合わせ先  
香川大学 教育学部 教授 坂井聡  
TEL : 087-832-1551

E-mail : sakai.satoshi@kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

幸町地区統合事務センター事務課（北キャンパス担当）総務係

TEL : 087-832-1405 FAX:087-832-1418

E-mail : lsoumut@kagawa-u.ac.jp